

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和５年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評 価
2023-2	局地的大雨に対応した事前通行規制基準の『時間的』・『空間的』高度化	京都大学 教授 岸田 潔	B
<研究の概要> 事前通行規制区間において、素因、誘因、崩壊事例により前処理した衛星解析から「潜在的危険斜面」の領域を可視化する技術を開発し、監視レベルを階層化する。「潜在的危険斜面」に対する浸透流・円弧滑り統合解析結果を学習した AI により規制判断を高度化する。 <中間評価結果> 順調に進捗している技術開発項目もあるものの、現状では各項目を関連付けた実務的な成果の見通しや成果の一般化に向けた検証などについて課題を有している。よって、指摘事項に留意しながら現行のとおりに推進することが妥当であると評価する。 <指摘事項> ・特定の地域のデータやケースを検証に活用しているが、成果を一般化するには更なる学習データやケースの追加が必要である。 ・干渉 SAR により衛星から遠ざかる変位が継続的に観測されれば被災につながることは予想されるが、現場での活用のためには、どの時点で措置を講じる必要があるのか閾値等を示す必要がある。 ・サロゲートや衛星 SAR の解析について、会議論文だけでなく学術論文にも成果をまとめられるとよい。 ・道路管理者等ユーザーのニーズも具体的に確認されたい。 ・各研究開発成果の関連付けを明確にした上で、当初の研究目標に照らし、道路管理の運用の具体的な改善につながるよう成果をとりまとめていただきたい。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第 53 回新道路技術会議において審議したものである。